

平成 24 年度

施設評価調書

施設の名称……吉佐美幼稚園

所管担当課……教育委員会学校教育課

平成 24 年 7 月

平成 24 年度

施設名（愛称名） 下田市立吉佐美幼稚園

番号 92

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設置目的	幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成するよう、家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎を培う。					
運営事業名	H22 年値	H23 年目標値	H23 年実績値	対前年比	目標達成率	評価
幼稚園管理運営事業	32 人	54 人	25 人	78.1%	46.3%	D
幼稚園施設整備事業、幼保一元化事業	4 施設	4 施設	4 施設	100%	100%	A
設置目的に対する総合評価						
目的達成度の評価基準	<p>目標値→◎目標値＝地域別学区対象年齢児数×1/2 地域別学区対象年齢時（3～5 歳児）の半数（50%）を保育園児とみなし、残り半数は在宅数＝幼稚園児数の指標とし目標値とした。（H23 年度の人口数を使用）</p> <p>どの事業も 5 段階評価の基準を A 90%以上、B 70%以上、C 50%以上、D 30%以上、E 10%以上とする。</p>					

2 現状分析(Check)

運営事業の意義と現状	<p>幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもので、幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培う場である。働く親が増えている中、保育所利用を希望する家庭が多いため、幼稚園希望者が少なくなっている状況と各施設の老朽化、耐震面から考えると幼稚園、保育所の再編整備は必要と考えられるため、平成 25 年度末を目標に整備を進めている。</p>
上記の原因	<p>少子化の進行、雇用や生活スタイルの多様化による保育ニーズの変化、財政の逼迫と施設の老朽化によるもの。</p>

3 次年度以降への改善点(Action)

具体的な改善方策	少子化が進行する中で、施設の老朽化、耐震の状況等から幼保再編整備計画において、H25 年度までの廃止を計画している。		
H24 年度運営事業と目標値	運営事業名	H24 年度目標値	備考
	幼稚園管理運営事業	50 人	
	幼稚園施設整備事業、幼保一元化事業	4 施設	

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価

運営事業名	H 年度	H 年度	H 年度	H 年度
総合評価				

平成 24 年度

施設名 (愛称名) 下田市立吉佐美幼稚園

番号 92

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		H22 年度値	H23 年目標値	H23 年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等	32	54	25	78.1%	46.3%
	B 年間経費 (除く収入)	16,167,174	16,219,309	8,661,253	53.6%	53.4%
	B/A	505,224	300,357	346,450	68.6%	115.3%
②光熱水費		267,574	290,000	236,574	88.4%	81.6%
③消耗品費		277,174	214,000	199,843	72.1%	93.4%
効率性指標の考え方等		A→年度末時点での園児数 目標値→◎目標値＝地域別学区対象年齢児数×1/2 地域別学区対象年齢時（3～5 歳児）の半数（50%）を保育園児とみなし、残り半数は在宅数＝幼稚園児数の指標とし目標値とした。（H23 年度の人口数を使用）				

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	地域の子どもは地域でという考えの中で、少人数でゆったりとした教育環境が確保されているが、費用対効果や効率性から考えると厳しい経営状況と言える。
----------------	---

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	少子化が進行する中で、施設の老朽化、耐震の状況等から幼保再編整備計画において、H25 年度までの廃止を計画している。		
H24 年度効率性 の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B/A	443,570	
	②光熱水費	481,500	
	③消耗品費	200,000	

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H 年度	H 年度	H 年度	H 年度
①利用単位当たり 経費	目標値				
	A実績値				
	B実績値				
	B/A				
	対前年比				
	目標達成率				
②光熱水費	目標値				
	実績値				
	対前年比				
	目標達成率				
③消耗品費	目標値				
	実績値				
	対前年比				
	目標達成率				

平成 24 年度

施設名（愛称名）	下田市立吉佐美幼稚園
----------	------------

番号	92
----	----

4 その他の指標

受益者負担 の適正性	区 分	説 明	単 位	H21 年度	H22 年度	H23 年度
	① 有料部分の 年間経費	使用料等を徴収する部 分の年間経費	円	15,794,901	16,167,174	8,661,253
	② 受益者負担 額	施設の本来の目的によ る使用料等の年間総額	円	1,653,100	2,000,800	2,000,800
	③ 受益者負担 比率	②÷①	%	10.5	12.4	23.1
	④ 補正受益者 負担額	減免者より世紀の料金を 徴収したと仮定した 場合の受益者負担額	円	1,701,900	2,067,900	2,000,800
	⑤ 補正受益者 負担比率	④÷①	%	10.8	12.8	24.8

運営に掛か る税負担 (市民負担)	年度		H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度(予算)
	人口（4月1日：人）		25,549	25,224	24,881	24,515
	人口 1 人あ たり（円/人）	運営経費（収入除く）	554	562	656	599
		年間総経費	608	617	712	656

利用者満足度調査

実施の有無	■ 有 □ 無	調査の方法	アンケート	H23 年度調査数	前期 22 件 後期 21 件
-------	---------	-------	-------	-----------	--------------------

○貸館利用者向け

1 調査結果

設問	回答種類	H21 年度回答数		H22 年度回答数		H23 年度回答数	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
園は教育目標、重点目標の達成に向けて努力していますか	A (している) B (ややしている) C (あまりしていない) D (していない)	A 22 B 2 C 1 D 0	A 21 B 4 C 0 D 0	A 17 B 10 C 0 D 0	A 21 B 6 C 0 D 0	A 20 B 2 C 0 D 0	A 20 B 1 C 0 D 0
お子さまは、登園を楽しみにし、楽しい園生活を送っていますか	A (している) B (ややしている) C (あまりしていない) D (していない)	A 22 B 3 C 0 D 0	A 24 B 1 C 0 D 0	A 24 B 3 C 0 D 0	A 22 B 5 C 0 D 0	A 18 B 4 C 0 D 0	A 20 B 1 C 0 D 0
園は遊びを充実させたり環境を整えたりするための指導の工夫改善を行っていますか	A (している) B (ややしている) C (あまりしていない) D (していない)	A 22 B 3 C 0 D 0	A 22 B 3 C 0 D 0	A 24 B 2 C 1 D 0	A 22 B 5 C 0 D 0	A 19 B 3 C 0 D 0	A 17 B 4 C 0 D 0
園は家庭への連絡、たよりの発信等を通して、家庭との連携を円滑に図っていますか	A (している) B (ややしている) C (あまりしていない) D (していない)	A 19 B 6 C 0 D 0	A 18 B 6 C 1 D 0	A 21 B 6 C 0 D 0	A 19 B 8 C 0 D 0	A 17 B 5 C 0 D 0	A 15 B 6 C 0 D 0

※今年度寄せられたクレーム等 (要望) 1 名・連絡網を自宅電話から携帯での一斉メール送信してくれたら嬉しいです。

2 調査結果から読み取れること

- ・ どの設問においても A、B で 100% という高い水準で安定している。
- ・ 保護者からは幼稚園教育について、概ね信頼を得ている。(A : 86%~95%)

3 次年度以降への改善点

- ・ 意見や要望については、すぐに対応できるもの、時間をかけて改善するもの、行政に働きかけること等の精選をする。職員間で検討し、対応可能なものは取り入れていく。
- ・ 教育活動を見直し、改善の視点や取り組みを明確にしていく。
- ・ 家庭との連携においては、「日常の情報交換」の活性化や子育ての悩み、子供の表れに対する心配事等、子ども達や保護者の不安を解消するための努力をする。
- ・ 園便り、家庭通信等において、教育目標、重点目標に迫る具体的な子どもの姿、育ちを理解してもらうよう情報発信の工夫をしていく。

施設修繕計画及び備品購入計画

破損年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考 (修繕済年度等)
H23	書庫のガラス修繕			

※今後想定される維持管理事項
廃止施設として検討しているため、破損修繕などは施設を維持するための最小限の対応としていきたい。

平成 24 年度

施設名（愛称名） 下田市立吉佐美幼稚園

番号 92

管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性	少子化が進行する中で、施設の老朽化、耐震の状況等から幼保再編整備計画において、H25年度までの廃止を計画している。 また施設の安全面から設置目的の変更も困難である。
民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性	施設の設置目的、民間事業者の未参入という下田市の現状を考えると困難であろうが、適正な運営能力を持つ民間事業者による運営は可能である。 運営母体となる民間事業者がない本市の状況下では、行政が主体となって運営にあたらなければならない。
施設の管理運営と経費の妥当性	最小限の経費で維持管理を行うための効率化に努めている。
施設の性質や実費経費からみた 受益者負担の妥当性	授業料については、3年毎に見直しを実施、平成18年度に5,000円から6,100円に改定を実施した。平成20年度見直しを検討し平成21年度実施時期であったが、国の推移や経済状況等を見極めつつ、改定は実施しなかった。
その他の管理運営上の課題	下田市の幼保再編整備計画において、廃止を前提に検討しているため、残りの運営年数を見据えた管理運営を行っていく必要がある。
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	

平成 年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項

平成 24 年度

施設名（愛称名） 下田市立吉佐美幼稚園

番号 92

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立吉佐美幼稚園		2 担当課 担当係	学校教育課 こども育成係					
3 所在地	下田市吉佐美 853 番地		4 設置年月	昭和 30 年 月 日					
5 総合計画の 位置付け	I								
	基本目標		未来の人づくり、幼児教育						
	基本目標を実現 するための施策		項目 幼稚園・保育所の一元化、幼児 教育の充実	内容 組織の構築、新園の整備、教 育活動の弾力化、幼稚園整備					
6 設置目的	幼稚園教育要領に基づき展開される幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成し、家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎を養う。								
7 設置根拠	下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例								
8 施設の概要	施設の概要		敷地面積 1,959 m ² 建築年月 昭和 55 年 2 月						
			建築面積 (鉄骨平屋) 434 m ²						
	実施事業 の概要		園舎 (教室、遊戯室、職員室)						
			運動場						
	料金体系		料金区分	授業料 月額 6,100 円 (8 月分を除く) (H18 料金改定)					
			給食費 月額 4,100 円 (給食費会計) (H21 料金改定)						
	料金体系		主な料金	種別	単位	昼	夜	昼夜	備考
			減免内容	(授業料の減免)					
				第 5 条 市長は、園児が登園しないことが月の初めから末日までに及ぶときは、当月分の授業料を免除することができる。 2 市長は、幼児教育の振興を図るため、園児の保護者に対し、規則で定める場合に該当するときは、授業料を減免することができる。					
施設運営 方法		利用料金制度 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							
		<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営							
		<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →	指定管理者						
直接従事職員		(24.4.1 現在)							
		正職員 2 名 臨時職員 2 名 合計 4 名							
9 市内の 類似施設	下田市所有	下田幼稚園、白浜幼稚園、稲梓幼稚園							
	民間所有								

平成 24 年度

施設名 (愛称名) 下田市立吉佐美幼稚園

番号 92

10 取得費等の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳		平成 23 年度末残高				(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価 1 円 ・ 新設翌年度から償却 ・ 耐用年数 34 年 (償却満了 S55.2~H26.1)				
	土地取得費		土地残高								
	建物取得費	47,480,000 円	建物減価償却後残高		5,585,880 円						
	財源内訳		年間償却額算定式								
	国・県支出金		47480000 円 ÷ 34 年 = 1,396,470 円								
	市債		市債残高		0 円						
	一般財源										
寄附金等											
物品(*万円以上)		物品減価償却後残高									
区 分		H21 年度決算	H22 年度決算	H23 年度決算	H24 年度予算						
収入	幼稚園使用料	1,653,100	2,000,800	1,744,600	2,147,200						
収入合計		1,653,100	2,000,800	1,744,600	2,147,200						
支 出	1 節 報酬	128,400	128,728	128,000	129,750						
	2 節 給料	7,582,453	7,356,385	7,811,092	7,554,000						
	3 節 職員手当等	3,114,854	2,896,850	3,080,727	2,899,455						
	4 節 共済費	1,872,190	1,841,672	2,035,819	1,977,818						
	7 節 賃金	1,921,395	2,481,462	3,414,637	2,628,571						
	9 節 旅費	11,204	36,964	48,250	31,455						
	11 節 需用費	498,594	672,177	816,500	876,600						
	12 節 役務費	117,028	128,108	140,300	139,673						
	13 節 委託料	373,439	375,138	384,500	411,396						
	14 節 使用料及び賃借料	131,460	134,553	136,000	126,220						
	18 節 備品購入費	0	73,840	28,000	0						
	19 節 負担金補助及び交付金	43,884	41,297	44,250	47,887						
	支出合計		15,794,901	16,167,174	18,068,075	16,822,825					
減価償却費		1,396,470	1,396,470	1,396,470	1,396,470						
市債利子											
職員人件費											
下田市負担年間総経費		15,538,271	15,562,844	17,719,945	16,072,095						
備考											
12 施設利用状況等の推移	利用状況	年 度	H21.5.1		H22.5.1		H23.5.1		H24.5.1		
			クラス数	幼児数	クラス数	幼児数	クラス数	幼児数	クラス数	幼児数	
		3 歳児	1	11	1	10	—	5	1	9	
		4 歳児	—	11	—	9	1	9	—	7	
		5 歳児	1	4	1	11	1	10	1	10	
		合 計	2	26	2	30	2	24	2	24	
	参考：利用単位 当たり市負担額	597,626 円/人		518,761 円/人		738,331 円/人		669,670 円/人			
	算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数										
	休園日	土曜日・日曜日、祝日、夏季・冬季・春季休暇									
	教 育 時 間	4 時間									

(参考資料)